

## すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を 提供し、生涯学習の機会を促進する

法文学部 教授 宮本 恭子

宮本研究室では、松江市と連携し、2014年から毎年「認知症サポーター」養成講座を開催しています。福祉経済論Ⅰの授業の一環で開催しますが、受講生以外の一般市民にも大学のホームページで参加を呼びかけています。毎年、一般市民の方も参加されています。

認知症サポーターとは？

「なにか」特別なことをする人ではありません。

認知症について正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。認知症を自分自身の問題として認識し、友人や家族に学んだ知識を伝えること、認知症の人やその家族の気持ちを理解しようと努めることもサポーターの活動です。講座を受講された方には、認知症サポーターの印となるオレンジ色のブレスレット「オレンジリング」をお配りしています。

研修を通じ、

- 1 認知症に関する正しい知識を学ぶ
- 2 認知症サポーターの役割と社会的意義を学ぶことにより、超高齢社会において共生社会を構築するためのサポーターとして活躍できる人材を育成することを目的とする。

◆参加者：島根大学法文学部学生、一般市民 毎年60名程度

◆今後、認知症サポーター上級講座を開催予定



認知症サポーター養成講座



オレンジリング